

地域連携課 共有

差出人: 地域連携課 共有 <hkd-as-chiikirenkei@ki.mlit.go.jp>
送信日時: 2025年8月27日水曜日 9:42
件名: 【旭川開発建設部】道北地域づくり通信<第17号>
添付ファイル: (別添1) 広域連携共創の取組ロードマップ.pdf; (別添2) AP分類整理.pdf

////////////////////////////////////

道北地域づくり通信 <第17号>

～共に創る、道北の未来～

////////////////////////////////////

※本メールは、これまでに名刺交換させて頂いた方、道北地域づくりワーク
ショップ・交流会にご参加いただいた方、道北地域づくり共創応援企業・
団体のみなさまに BCC 送信しています
※各関係者様に情報展開して頂きますと幸いです

みなさま、こんにちは
道北地域づくり通信事務局の 旭川開発建設部 地域連携課です。

今回は、『広域連携共創の取組』についてお知らせします。

○『広域連携共創の取組』について

旭川開発建設部では、広域連携共創の取組を、先般ご共有したロードマップ
(別添1)に基づき進めております。

今回は、ロードマップの STEP 1 にある課題・実施内容等の再構築を行いましたのでお知らせします。

～ STEP 1：課題・実施内容等の再構築について ～

令和6年度に地域の将来に必要なアクションをまとめた道北地域づくりアクションプラン（AP）について、記載事項の「How（目指すべき地域の姿）」、「Why（なぜ）」、「具体的な活動」に着目し、以下 A～H の8つの施策分野へ分類することで、AP で示された課題・実施内容等が明確になるよう整理しました。

<アクションプランの施策分野>

【A：観光振興】

地域資源を活用し、観光客を誘致する取り組み

【B：教育・人材育成】

地域への誇りや学びを通じた人材の育成・定住促進

【C：移住・定住・暮らし】

定住支援・住環境整備・子育て支援など

【D：地域経済・産業振興】

農業・特産品・6次産業・輸出などを通じた地域経済の循環

【E：情報発信・地域ブランディング】

魅力発信、知名度向上、外部へのイメージ戦略

【F：環境保全・脱炭素】

再生可能エネルギーや脱炭素社会の実現に向けた活動

【G：インフラ整備・デジタル化】

交通手段、ICT、スマート技術など

【H：福祉・健康・スローライフ】

高齢者支援、健康、地域内での豊かな暮らし

別添2において、APの記載事項を施策分野ごとに振り分けていますのでご覧下さい。

当部においては、今回整理した内容を元に、当部の事業や施策と親和性の高い事業を抽出し、先行事例として進めてまいります。

皆さまにおかれましても、今回の整理内容をご覧いただき、既に行っている取組も含め、主体的に関わっていただけたような活動がありましたら、ぜひご一報ください。

▼アクションプランについては、こちらをご覧ください。

<https://www.hkd.mlit.go.jp/as/tiiki_sinkou/a07911000000bqny.html> 北海道開発局 旭川開発建設部
HP

それでは、どうぞよろしくお願いいたします。

宛先追加、配信停止をご希望の方は事務局

(Email: hkd-as-chiikirenkei@ki.mlit.go.jp) までご連絡ください。

-----MLIT

(送信元) 道北地域づくり通信 編集長

■事務局 国土交通省 旭川開発建設部 地域連携課

〒078-8513 旭川市宮前1条3丁目3番15号

TEL: 0166-32-3079 (ダイヤルイン)

Email: hkd-as-chiikirenkei@ki.mlit.go.jp

共に北海道の未来を創る ～第9期北海道総合開発計画～

<http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/keikaku/u23dsn0000000fqs.html>

令和7年度 広域連携共創の取組 ロードマップ

令和6年度
機運・キックオフ

令和7年度
課題、実施内容の再構築、実施体制の検討、施策の推進

令和8年度～
事業実行

○多様な関係者との関係づくり

○各イベントパネル展示で「道北未来のためやりたい」アイデアを徴収

○地域づくりワークショップで種を題材に自由アイデアを出し合い、アクションプランをまとめ

○シンポジウムで、アクションプランのお披露目と、共創の取組キックオフ宣言

アクションプラン

<見直しのポイント>

- アクションプランの再構築
- 先行事例の創出

STEP1：課題・実施内容等の再構築

- ・R6にWT毎に検討し、取りまとめたアクションプランを、施策分野毎（観光、農業、教育、物流等）に整理し課題、実施内容を再構築
- ・当部事業と親和性の高い事業を先行事例として抽出

STEP2：実施体制の検討

- ・施策分野毎に整理した課題、実施内容を「①事業連携共創（既存の事業、施策、プロジェクトの活用）」「②インフラツーリズム」「③その他のプロジェクト」に分類
- ・①②は先行事例の創出に向けた取り組みを実施
- ・③は地域活動団体等の動向把握、取り組み支援等を検討
- ・②③における応援企業の支援内容を具体的に検討

STEP3：施策の推進

- ・上川地域共創推進チーム（仮称）を設置し、進捗状況や課題の共有、情報共有・発信等を実施）

STEP0：主要な関係機関や団体へ進め方の説明
その後【道北地域づくり通信】にて民間企業含め関係者に検討をご案内

- ・旭川開建では、必要に応じて、場の設定（打合せ、勉強会、WS等）や、議論や検討の支援を行います。
- ・開発局が直接支援できる施策等については、検討の段階から参加し支援しますし、直接支援が難しいものについては、関係機関や団体との調整や仲介を行います！

ビジョンに反映

地域づくり
連携会議

応援企業募集の
取組

地域みんなで考えた未来のために「やるべきこと」のアイデア。誰がどのようにもまだアイデアレベル。

【R7年度の進め方】
課題、実施内容の分類・再構築
※既存プロジェクトでの取り込みも含む

アクションプランの応援団形成

施策の推進（継続）、新たな課題への対応

アクションプラン分類整理【A】観光振興

施策分野	施策の内容	AP記載事項 [凡例 ★:How(目指すべき地域の姿) ◆:Why(なぜ) ○:具体的な活動]
【A】観光振興	地域資源を活用し、観光客を誘致する取り組み	★観光客の方が安心安全に楽しむことができる ★情報を見た人たちが観光にこの地域を選ぶようになる(集客) ★自転車旅行の魅力の向上による観光客の増加 ★【世界】世界の人々が訪れる地域(人に自然に優しい、安心してアウトドア活動が楽しめる＝集客力) ★道北の市町村全体が連携して一体となった観光ができると全国的にもないものになる ★高単価の観光提供と地域経済波及 ★時間があるから旭川に行こう！ ◆観光客の増加 ◆色とりどりの観光プラン(星空がきれい体験、自然＝緑、雪＝白、空＝青・漆黑、花＝紫、ワイン＝赤) ◆観光客の移動をスムーズにするために ◆ここでしか食べられないもの、店の開発 ◆(観光客、移住者) → かせぐ、豊かな暮らしを実現する ○再生可能エネルギーを活用した意識高い系観光客誘致 ○体験メニューの作成 ○体験の実践 ○川のまちの魅力UP(カヌー、川床、川めぐりetc.) ○【スポーツ×観光】 ○まちのマニアックな良さを体験してもらう活動 ○コンテンツの発掘と魅力的な観光ルートの検討 ○流域ツアーの展開・観光消費 ○環境づくり(駐輪場・荷物預かり・自転車の貸出など) ○自転車と観光資源との連携 ○雪で道路が止まるなどがあった場合も楽しめる回避道の確保(さまざまなルート・コンテンツを把握) ○地域農産物を活かした食をデジタル技術を活かして提供 ○空家を民泊を活用し、観光客に泊まってもらうマッチングシステム ○河川資源維持・活用のルールづくり「天塩川 川釣り特区」 ○行政や観光協会が主体となる広域連携の仕組みづくり ○ダンスを通したまちづくり

アクションプラン分類整理【B】教育・人材育成

施策分野	施策の内容	AP記載事項 [凡例 ★:How(目指すべき地域の姿) ◆:Why(なぜ) ○:具体的な活動]
【B】教育・人材育成	地域への誇りや学びを通じた人材の育成・定住促進	★子供の個性(多様性)を育てる ★想像できる、学べる地域として、消費・作る喜びを共有する ◆五感の醸成 ◆地域の大人にあこがれる ◆道北の中核都市「名寄」として、高次医療・高等教育を維持したい。 ○【農業×教育】 ○【スポーツ×教育】 ○ツアーガイド育成(学校教育・地元企業) ○ビジネスとの接点を作る ○学生による起業サークルを創る ○プロジェクト・ベースト・ラーニングを軸とした教育 ○アナログを大切にする⇒商店街などが教室として活用 ○予算を確保する

アクションプラン分類整理【C】移住・定住・暮らし(1)

施策分野	施策の内容	AP記載事項 [凡例 ★:How(目指すべき地域の姿) ◆:Why(なぜ) ○:具体的な活動]
【C】移住・定住・暮らし(1)	定住支援・住環境整備・子育て支援など	★空家が増えても地域の景観が保たれる ★外国人労働者も安心して働ける ★効率的な仕事で時間ができる ★アウトドアガイドが憧れの職業として若者の定住に寄与 ★高校進学で出て行かない、定住を促進する ★食リンピックといえば旭川 ★食で作った食リンピック料理をお店で出す(ご当地グルメ) ★地元の魅力を再確認した人が地元に残る、また戻って来る(究極の姿) ★地元肯定感の増加、幸福度 ★観光客が増える、リピーターが増える、移住者が増える ★自信アップ、人の活力アップ ★地元を好きになってもらう ★【文化】新しい文化の創造(若い人(移住者)と居住者の交流) ★長期滞在できるふらの ★ベース基地ふらの ★人口減少が進んでも住まわれている方の暮らしが便利 ★高齢者などの交通弱者や移住・就農者が安心してらせる地域(ラストワンマイルモビリティの確保)→生活基盤が整った快適に暮らせるまちづくりによるコミュニティの維持、移住・新規就農者が安心して生活できるビジョンをもてる住みやすいまちづくりの実施 ★文化活動や趣味などに力を入れられる豊かな生活 ◆自然環境とバランスがとれた状態ある程度の利便性 ◆人口減少・高齢化のなかで「稼ぐ&暮らす」持続可能な地域づくりをしたい。 ◆経済的に豊かに暮らせる ◆都会で暮らすだけが豊かでない ◆暮らし続けるためには、外から人を呼び込む ◆人口増加?維持? ◆子供たちのために。寂れないように ◆次の世代に魅力ある町をつなぐ

アクションプラン分類整理【C】移住・定住・暮らし(2)

施策分野	施策の内容	AP記載事項 [凡例 ★:How(目指すべき地域の姿) ◆:Why(なぜ) ○:具体的な活動]
【C】移住・定住・暮らし(2)	定住支援・住環境整備・子育て支援など	◆子供のために ◆まちの継続(発展) ◆帰って来られる地域、国内外から人が集まる地域にしたい。 ◆次の世代につなげていきたい ◆地域に住んでもらいたい ◆人口減少の緩和 ◆知ってもらい移住、定住 ◆地元愛を育てる ◆子どもが将来ここに生まれて住んで良かったと思えるまち ◆旭川を盛り上げたい ◆若者を中心とする地域の人々自らが、地域の魅力を体験し、情報発信することにより、地域に対する誇りや愛着が生まれ、結果として地域に残ったり、戻ってくる人が増えるような社会づくりを目指すもの。 ◆自分達が楽しく・前向きに ◆地域への思い⇒すりこむ!! ◆助けてもらった、育ててもらった、愛情 ◆子どもたちに、ふるさとを残したい。誇りに思っていて欲しい! ◆関係人口を増やす ◆新しい文化の創生 ◆人口が減ったとしても、住人の暮らしを守る ◆住んでる人の幸せ ◆取りこぼしのない暮らし ◆住みたいところに住み続けるために ◆暮らしの選択肢を広げる ◆居場所づくり ◆高齢者などの交通弱者や移住・就農者が安心してらせる地域づくりしたい→コミュニティの維持、快適に暮らせるまちづくりビジョンのもてる地域づくり ◆何もしないと暮らしの利便性が損なわれる

アクションプラン分類整理【C】移住・定住・暮らし(3)

施策分野	施策の内容	AP記載事項 [凡例 ★:How(目指すべき地域の姿) ◆:Why(なぜ) ○:具体的な活動]
【C】移住・定住・暮らし(3)	定住支援・住環境整備・子育て支援など	◆地域の住民が元気になる ○デジタル技術を活用した交通手段(ライドシェア、自動運転バス等) ○除雪の自動運転化 ○プラットフォームづくり ○安全安心・充実した環境での豊かな暮らし ○移住・定住のバックアップ ○海外向けプロジェクト ○独身者向けプロジェクト ○子育て世帯向けプロジェクト ○ハード整備 ○データセンターの誘致 ○雇用の創出プロジェクト ○プロジェクト実施→人口が増えて、生活が豊かになる経済圏形成！ ○【農業×スポーツ】食リンピック ○既存観光イベントに住民参加、企画段階から住民参加できるような仕組みづくり ○住民参加による新規観光イベント企画会議(仮)開催、イベント開催 ○地域の暮らしに密着した観光メニュー・イベントをつくる。 ○各世代の必要に応じた富良野方式のサービスの充実(保育・託児、病院・介護等々) ○移住したいと思った人のフォロー

アクションプラン分類整理【D】地域経済・産業振興(1)

施策分野	施策の内容	AP記載事項 [凡例 ★:How(目指すべき地域の姿) ◆:Why(なぜ) ○:具体的な活動]
【D】地域経済・産業振興(1)	農業・特産品・6次産業・輸出などを通じた地域経済の循環	★旭川周辺の人のお金が潤う ★地域通貨が利用されていくことで、地域経済が活性化 ★【経済】地域における資金循環(移住・定住者増による地域産業の活性化) ★地元に雇用の場が増える→経済の好循環 ★農業者に若い人が増える ★成功事例を見た事業者が自ら積極的にメニュー開発を行っている(拡大) ★次から次へと地域の新しい魅力が発掘されている ★食を活用した地域となっている(ラーメン村みたいな・・・) ★食を楽しめる拠点が出来ている(季節ごとに) ★地元で加工品生産 ★街中やホテルで買える名産品 ★意識高い系観光客(持続可能な未来へ向けた環境問題:クリーンエネルギー、フードロス、SDGS等への意識や関心がの高い層)を地域に呼び込み、他の観光地にはない魅力の発信により、交流・関係人口を増加し地域振興を図る ★空き家などの活用できる資源がわかることで、地域おこしなどの活躍につながる ◆地域内の生活に支障が出ないような経済圏をつくる ◆外貨を稼ぐ ◆市民生活産業維持活性化 ◆農業の担い手を見つける ◆一次産業や各種産業の担い手になる人材の発掘・育成を進めて地方創生(ここで働きたい・住みたい人)の振興 ◆地域の活性化 ◆新たな旭川の可能性をひきだす ◆食品ロスをなくす。地域の未来のために ◆一過性(ブーム)で終わらせない。 ◆地域力の向上 ◆おもてなし・交流を育む機会・場所の創出 ○wildな自然を活かす(農家で雪遊びetc.) ※産業振興の視点での取組(デザイン、木材etc.)

アクションプラン分類整理【D】地域経済・産業振興(2)

施策分野	施策の内容	AP記載事項 [凡例 ★:How(目指すべき地域の姿) ◆:Why(なぜ) ○:具体的な活動]
【D】地域経済・産業振興(2)	農業・特産品・6次産業・輸出などを通じた地域経済の循環	○強みである農産物や農産品、ワイン、チーズなど、既にある強みを生かして輸出を増やすことに より、富良野の名前、知名度を上げる ○バイヤーとの交流、プレゼンの場を作るなど「ふらの」を知る機会づくり ○食を楽しむイベント・食材をつなげる取組 ○空き家を活用したゲストハウス等の用意 ○モデル地区から地域全域での拡大 ○100プランの設計 ○周辺市町村で連携し、まちごとの季節の魅力、資源を教え合う機会づくり ○圏域プロジェクト協議会の設立・試算 ○地域住民・キーマン向け説明会 ○運営体制の整備



施策分野	施策の内容	AP記載事項 〔 凡例 ★:How(目指すべき地域の姿) ◆:Why(なぜ) ○:具体的な活動 〕
【E】情報発信・地域ブランディング(1)	魅力発信、知名度向上、外部へのイメージ戦略	★デザイン要素のある、「川のマチ」としての資源が活用されている ★自転車で新たな魅力が発見され、それが発信される ★住民全体が地域の発信する力が向上する(情報発信) ★エリア別地域の情報が世の中に自由に飛び交っている(情報発信) ★地域の魅力をPRする地元人材の育成により、より地域の魅力の発信へ ★たくさんのプランに参加することで、より深くその地域を「知る・伝える・案内する」人の増加 ★知名度アップ ★「道北」ブランドとして市町村それぞれが「道北」の仲間意識を持つ、他のまちの魅力を話せるようになる ★まず富良野をめざそうと思ってもらえる ★スポーツゲームを活用して農業をPR ◆旅行だけではわからない地域の価値の理解 ◆地域を出て行っても紹介してもらったり、メディアに取り上げてもらう ◆他の観光地にはない魅力の発信により、交流・関係人口を増加したい ◆旭川の食を知ってもらう ◆自慢できるまち ◆富良野独自のものを見出してもらう ◆地元の魅力を未来につなぐ ◆未来に地元の事を知ってもらう、つたえていく ◆初めて来訪する方への魅力発信・暮らしぶりやマナーの向上 ◆日本にふらのがあって良かった、と思う ○脱炭素de地域づくり ○SNSなどでの自転車生活のリアルな情報発信 ○マニアックな良さの発信・アピール ○体験者の窓口づくり・広報 ○情報発信の実践 ○情報発信したくなる仕組みづくり(インセンティブ) ○広域連携による地域ブランディング、観光PR

アクションプラン分類整理【E】情報発信・地域ブランディング(2)



国土交通省
旭川開発建設部

施策分野	施策の内容	AP記載事項 〔 凡例 ★:How(目指すべき地域の姿) ◆:Why(なぜ) ○:具体的な活動 〕
【E】情報発信・地域ブランディング(2)	魅力発信、知名度向上、外部へのイメージ戦略	○道内・道外への積極的な周遊観光のPR ○様々な商品や場所において「ふらの」のロゴをもっと利用してもらう ○日本のアニメのコンテンツ力を生かし、「ふらの」のキャラクターである「へそ丸」や「トマピー」などのキャラクターを活かして世界に発信 ○食をもっとPR(勝手井、利き醤油、マルシIetc.) ○道北各地の魅力の洗い出し ○スタンプラリー等、参加者を増やすための企画の設計 ○周辺市町村で連携した宿泊情報の共有(空室情報)

アクションプラン分類整理【F】環境保全・脱炭素

施策分野	施策の内容	AP記載事項 [凡例 ★:How(目指すべき地域の姿) ◆:Why(なぜ) ○:具体的な活動]
【F】環境保全・脱炭素	再生可能エネルギーや脱炭素社会の実現に向けた活動	★低炭素社会の実現 ★川の資源維持、ワイズユースルール ★観光消費が環境保護につながる経済 ◆ターゲットを環境問題への意識が高い系と設定→高付加価値なサービスの提供に見合う適正な対価の収受→関連産業の収益増加 ○再生可能エネルギーを活用したラストワンマイル・モビリティの実用化

アクションプラン分類整理【G】インフラ整備・デジタル化

施策分野	施策の内容	AP記載事項 [凡例 ★:How(目指すべき地域の姿) ◆:Why(なぜ) ○:具体的な活動]
【G】インフラ整備・デジタル化	交通手段、ICT、スマート技術など	★周遊が定着することによりニーズが高まり、バスの便数の増加につなげる ★車の上に自転車を置いて移動、途中から自転車移動 ★アニメの聖地 ◆どこにでも移動しやすくするために ◆御当地アニメの世界に発信 ○スーパーアプリの開発(観光、交通、道路、空き家民泊、EC決済、多言語対応、医療) 交通手段、ICT、スマート技術など ○アプリケーションの導入(通貨・距離・情報) ○道づくり ○河川へのアクセスポイント・駐車場整備「川の駅」 ○高速交通網整備(高速道路・ヘリポート)

アクションプラン分類整理【H】福祉・健康・スローライフ

施策分野	施策の内容	AP記載事項 [凡例 ★:How(目指すべき地域の姿) ◆:Why(なぜ) ○:具体的な活動]
【H】福祉・健康・スローライフ	高齢者支援、健康、地域内での豊かな暮らし	★住民の自転車の利用による健康寿命の延伸 ◆みんなが健康で元気に暮らすために ◆地域外の人に日々の喧騒を忘れて健康になってもらう非日常的な機会 ◆スローライフを肯定できる ◆真の豊かさの追求！ ○ロハス(健康的で持続可能な生活様式)体験 ○真の豊かさ追及プラン(ロハス生活…)